



中山廣子 議員
(公明党)

問 学校図書館の環境整備を

学校図書館は、子どもたちが最も身近に本との出会いをつくることのできる場所である。第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」に基づき、学校図書館図書標準100%の達成、図書の更新、新聞（日刊）の配備、学校司書の配置を目指すべきと思うがいかがか。

答 学校図書館の充実を図っていく

図書標準については、中学校は全4校が100%を超えているが、小学校は6校中2校が100%を下回っている。図書標準の達成及び図書の更新を計画的に進め、学校図書館を充実していく。新聞の配備及び学校司書の配置については、今後検討していく。

問 熱中症対策の推進を

異常な暑さの中で、熱中症の発生の予防を強化する取組を一層推進することが必要である。その指標として気温や湿度の他に暑さ指数を周知してはどうか。そして、市内の公共施設6か所に「まちのクールオアシス」ののぼり旗を設置し、市民に周知してはいかか。

答 効果的な熱中症予防対策を推進していく

熱中症予防のため、暑さ指数の認知度向上及び「まちのクールオアシス」事業の周知は、重要であると認識している。具体的な熱中症の予防方法の紹介とともに、市公式ホームページなどを活用し、分かりやすい情報発信となるよう工夫して行っていく。



まちのクールオアシスののぼり旗



和賀正義 議員
(TSUNAGU)

問 消防団の現状や人員体制とその課題

消防団は、「いつ発生するかわからない火災に対処する大変重要な存在」である。

市民及び団員の安全を守るため、団員募集の周知や運営について伺う。また、消防第7分団の移転はどこまで進んでいるのか。火の見やぐらの撤去はどうするのか伺う。

答 消防団が円滑に活動できるよう努める

市では、消防団の団員数を増やすため、引き続き、埼玉東部消防組合などの関係機関と連携し、様々な機会 で団員の募集に努めていく。第7分団の機械器具置場については、今後、移転などの対応や火の見やぐらの撤去を含め、第7分団と協議していく。

問 高齢者が暮らしやすい街づくりの実現

行政では、デジタル化・DXが進んでいく中、白岡駅周辺も高齢化が進む現状で市役所連絡所に高齢介護課の窓口を検討してはいかか。また、デジタル化・DXに対応できない高齢者にどのように対応していくのか伺う。

答 相談窓口の周知やアウトリーチ※に努める

行財政改革の一環で窓口の設置も含め連絡所の在り方を検討していく。介護を必要とする方が適切にサービスを利用できるよう高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターの更なる周知や困りごとを抱える高齢者やその家族へのアウトリーチに努める。

※アウトリーチとは、支援訪問のこと。



市役所連絡所